春休み企画

子どもの一日
三鷹の森ジブリ美術館で思いきり遊ぼう

ⓒMuseo d'Arte Ghibli

春休みの一日、三鷹の森ジブリ美術館が“子どもたちだけの空間”として開放されます。

この日入館できるのは、市内に住んでいる小学６年生以下の子どもだけ。きれいなもの、おもしろいもの、楽しいもの、美味しいものをちりばめて待っています。みんなで遊びに来てください。

▷４月４日㈫正午～午後５時（入場や帰る時間は自由）。参加費（おやつ代）１人１００円。

※送り迎えの方でも大人は美術館には入れません。子どもたちだけで遊ぶことができることが条件です。

※ショップ、カフェは営業していません。

▶３月１５日㈬（必着）までに、はがきに保護者の住所・氏名・電話番号・参加する子ども全員の氏名（１枚で２人まで）・年齢を記入し、「〒１８１－００１３下連雀１－１－８３三鷹の森ジブリ美術館『子どもの一日』係」へ申し込む。定員６００人（申込多数の場合は抽選）。

当選者には３月２０日㈪ごろまでに、はがきで連絡します。緊急の連絡先などを記入し、当日持参してください。

⇨同館☎０５７０－０５５７７７（午前１０時～午後６時　火曜日休館）

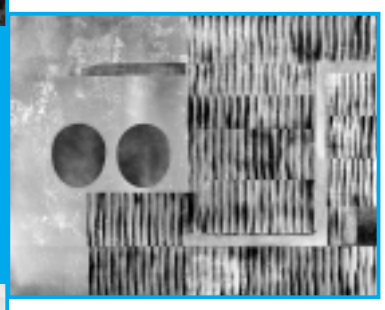
三鷹市所蔵作品より

三鷹の地に住まい、創作を行った3人の油彩画家の、市所蔵作品38点による、昭和美術史の一断面ともいえる展覧会です。

３月２１日㈷～２９日㈬
美術ギャラリーで

◆主　　催　三鷹市
◆休 館 日　月曜日
◆開館時間
午前10時～午後6時
（入館は5時30分まで）

桜井浜江 田中田鶴子 桜井寛
三人展



桜井浜江（1908～）、田中田鶴子（1913～）は、共に女流画家の草分け的世代の現代作家です。その生き方は、晩年をもってなお力強いその作品に象徴されています。

桜井寛（1931～）は、次世代作家として油彩画の表現の可能性を示してくれます。

桜井浜江
「人物」1948年
田中田鶴子
「時間と空間Ⅱ」制作年不詳
桜井寛
「シュミーズの女」1987年

三鷹市美術ギャラリー
JR三鷹駅（南口）
CORAL5階
☎79-0033
HP http://mitaka.jpn.org/gallery/

公開フォーラム

篠藤明徳さん

みたかまちづくりディスカッション２００６に向けて

みたか市民ボイスをまちづくりに！

河瀬謙一さん

㈳三鷹青年会議所主催、市共催、㈶日本青年会議所関東地区ブロック協議会協力。

無作為抽出した市民が会議に参加し、まちの課題を討議する――ドイツで生まれた市民参加の新しい手法を紹介、三鷹での可能性を別府大学教授の篠藤明徳さんにお話しいただきます。

その後、パネルディスカッションで三鷹市の市民参加の経緯と現状、８月の実施に向けた新しい手法のディスカッションについて話し合います。パネリストは篠藤明徳さん、三鷹SOHO倶楽部代表の河瀬謙一さん、市職員。

▷３月10日㈮午後６時30分～９時、市民協働センターで。

▶当日、直接会場へ。

⇨市民協働センター☎46―0048

あなたの写真が市のホームページに！

井の頭公園桜「シャッターボランティア」募集

市のホームページに載せる「井の頭公園桜開花情報」の「桜の開花状況」を写していただくボランティアの方を募集しています。

ご協力いただくみなさんで一度公園に集まっていただき、撮影する「特定の桜の木」と、およそ３月２０日～４月１０日での撮影担当の日を相談の上、決めていただきます。

期間中は「桜の木」の状況と公園内風景をデジタルカメラで撮影し、コメントを付けて市にＥメールで送っていただきます。

▶３月１０日㈮までに、氏名・メールアドレス・電話番号・住所を緑と公園課☎内線２８３４・✉midori@city.mitaka.tokyo.jpへ電話またはＥメールでご連絡ください。

※２００３～２００５年の「桜の開花状況」は、市のホームページ各種トップページの「井の頭公園物語」でご覧になれます。

三鷹市長メールマガジン
メッセージ、活動記録、部課長コラム、新着情報
三鷹市ホームページ・同携帯サイトから登録できます。

三鷹市広報番組　みる・みる・三鷹
武蔵野三鷹ケーブルテレビ5ch
1日4回放送
9:30/12:00/19:30/23:30
●第233回（3月5日～18日）
清原市長に聞く、新年度の施政方針

三鷹市市政情報番組
おはよう！三鷹市です
FMむさしの78.2MHz
月～金曜日10:20～25放送

広報みたかは三鷹市シルバー人材センター会員がお届けしています。
⇨シルバー人材センター☎48―6721

本はともだち 193
大切な友だち

寒さも緩み、春の出会いの季節が訪れようとしています。今回は「友だち」の本を5冊紹介します。

ここで紹介した本をお読みになりたい方は、図書館までお問い合わせください。

「ふたりはともだち」
アーノルド・ローベル 作　三木卓 訳／文化出版局

なかよしのかえるくんと、がまがえるくん。訪れた春にあいさつをしたり、なかなか届かない手紙を待ったり。おもわず頬がゆるんでしまうほのぼのとした５つの物語が楽しめます。

「社会でかつやくするイヌたち 盲導犬」
アイメイト協会監修／すずき出版

目の不自由な人たちと盲導犬はいつもいっしょ。とても深い信頼関係でむすばれています。多くの写真とともにその生活がくわしく紹介されています。

「おともだちにナリマ小」
にしむらあつこ 絵／たかどのほうこ 作／フレーベル館

ある日、やまびこ小学校に「おともだちにナリマ小（しょう）」と書かれた不思議な手紙が届きます。

「けんかのきもち」
柴田愛子 文／伊藤秀男 絵　ポプラ社

けんかをして、くやしくて涙がとまらない…。でも、最後は仲直りをして心温まる絵本です。

「ベッシーによろしく」
花形みつる 作／山西ゲンイチ 絵　学習研究社

今回の転校が５回目の一郎は、早くクラスにとけこみたいと思っていましたが、となりの席の“ベッシー”に振りまわされてばかりです。

⇩三鷹図書館☎43―9151